



# 森のなかま

2015年3月号

NO. 83 (継続228号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明  
〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL 046-280-4101・FAX 046-280-4102



相模湾

聖峰山頂より  
見下ろす景観

## 森林部会 里山林整備技術研修会

平成27年1月25日(日) 伊勢原市三ノ宮

### < 森林部会部会長 佐藤 武晴 5期 >

昨年6月から伊勢原市三ノ宮でインストラクターの会として「里山保全活動」を始めましたが、この活動はスギ・ヒノキの人工林の手入れを主体としたこれまでの活動に対して広葉樹・里山林を対象とした継続的活動の第一歩と言えます。今回はこのフィールドに於ける最初の研修会で、穏やかな日差しのなか30名の参加がありました。

研修会は里山保全活動チームの足立功氏を講師として、里山の基礎知識及び三ノ宮里山保全計画に関する講義、現場の視察と聖峰ハイキングコースの踏査、竹林整備作業を実践しました。

最初の講義では里山の基礎知識に続き、活動地の概要、整備計画、作業の進捗状況などの説明があり、このフィールドをどのような里山に再生するか、現地調査とプラン作りの過程などの話がありました。

講義の後、既に延べ100名近い活動が行われた施業地の様子や未整備の箇所を見ながら活動地に隣接する聖峰ハイキング経路に出て、そこで講義内容と現場の状況に関する質疑応答を実施、その後「聖峰」山頂を目指した。「聖峰」山頂には聖峰不動尊が祀られており、山頂からは相模湾から東京都心まで素晴らしい眺望が楽しめ、里山整備域の活動と聖峰ハイキングコースを合わせた活動が期待される。昼食後は侵入した竹の整備作業にかかり、およそ1時間半、枯竹・倒れた竹の伐採、整理を実習した。竹林整備が初体験の人もいましたが研修会が次の活動につながることを期待しています。



講義風景



竹林整備中の現場



未整備の広葉樹林



整備中の広場



竹林整備実践 作業前



竹林整備実践 作業後



メジロ

自然観察部会 『冬の探鳥会』  
東京港野鳥公園、2015年 1月4日(日)快晴、1月10日(土) 快晴

< 自然観察部会 赤崎さほり 12期 >

講師：高橋恒通 氏 3期、武本弘次 氏 7期

新年明けて早々の探鳥会でしたが、たくさんの方が参加してくださいました。日中は思ったより暖かく、小春日和に恵まれたこと、また、野鳥公園はよく整備されており、昼食も屋内でゆっくりととれたことが大変好評をいただきました。園内巡回中のレンジャーの方から、フレッシュな情報をいただけるのもこの場所ならではの思います。



たくさんの鳥がいるよ。



さて、冬はカモの観察に最適な時期です。今回も多くの種類のカモが観察できました。

1回目では、マガモの珍しい行動も観察できました。また、そのカモを狙って、猛禽類もやってきます。



ノスリ



カラスに追いかけるトビ



マガモのカップル

2回目では、ノスリをじっくりと観察でき、カラスに追いかけるトビやオオタカも観察できました。両日とも、美しいカワセミの姿も見られました。杭の上から餌を狙って狩りをする様子は参加者の方の目を奪いました。昼食後には、「野鳥の習性・渡り」についての講和も実施され、参加者の方々は大変熱心に傾聴され、質問や疑問なども多く出て、講師の方との会話も弾みました。

また今回、開催2回目だけでしたが太平洋側では迷鳥として珍しい「トモエガモ」が観察できたことが本当に嬉しかったです。自然の中でも出会いは一期一会なのですね。

これが ” トモエガモ (巴鴨) “です。♂  
顔の斑紋が、緑と黄色の巴模様に見えるのが名前の由来



アオサギ

イソシギ



- ◎観察できた鳥の種類
- 両日とも観察できた鳥：マガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、オオバン、イソシギ、セグロカモメ、トビ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、ハシブトカラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、ドバト
- 1回目のみ観察できた鳥：カルガモ、ハシビロカモ、コガモ、バン、オオセグロカモメ、アオジ、オオジュリン
- 2回目のみ観察できた鳥：オカヨシガモ、ヒドリガモ、トモエガモ、スズガモ

参加者：滝澤⑤、伊藤⑦、黒澤⑧、内野⑨、村井⑨、松山⑩、小林(富)⑩、大橋⑪、松永⑪、松本⑪、湯浅⑪、東(一)⑫、永松⑫、小池⑫、赤崎⑫、大原⑬、水上⑬、宇田川⑬、江頭⑬、長尾⑬、松石⑬

(写真撮影：松石、小池、松本)

“ やどりき周辺の山歩き第1回の再挑戦 ” 12月23日(火) 祝日  
 コース: やどりき水源林ゲート～雨山峠～鍋割山～1000m地点～やどりき水源林ウシロ沢出合

< やどりき事業部会 滝澤 洋子 5期 >

ここ数年寄沢経由で鍋割山へ行く登山者が増えたと感じる。やどりき水源林の「森の案内人」もこのコースを見ておこう、ついでに1000mからのエスケープルートも確認しておこうと企画。雨山峠までの登山道は最近頻りに整備されているものの、大雨の度にどこかが崩壊し、また大雨直後の峠直下は道迷いもしやすくなり、注意が必要なルートと思う。

寒さで雨山峠直下廊下状の所の凍結を心配していたが、当日通過時にはほとんど融けていた。

鎖場が連続する雨山峠からの鍋割山は初めてという3名の感想を以下に紹介する。

★ この時期ならではの、澄んだ空気で富士山を眺めながらの登山となりました。落ち葉、長い霜柱(エノキダケの様でした)の上を踏締めながら岩場、鎖場、階段、泥濘(ぬかるみ)、杉林、とバラエティー豊かなコースで、とても面白かったです。今回の企画は一般的なコースではないので、達人になった気がします。(記 菊地 1期)

★ 早朝、新松田駅から見える富士山はいつもながら雄大で最高！雨山峠までは、前回10月にも歩いた道のりでしたが今回は花も無く枯葉ばかり。その代り10cm位ある巨大霜柱や岩に凍り付いた沢の水、風もなく澄んだ青空、前回木々に隠れて見えなかった雨山峠からの富士山はこれまた感動的！そこからいきなりの急斜面直登、鍋割山までは途中鎖頼りの登り下りの岩場等々、初心者の自分にはハードな山歩きでしたが山頂からの眺めは感無量！！

次回は鍋焼きうどん食べたい！(記 大橋 11期)

★ 10年近く前から、雨山峠の方から鍋割山へは登ってみたいと思っていましたが、上級者コースとのことで断念していました。今回この企画に即答で参加希望しましたが、ちゃんと歩かぬのか？ワクワクドキドキしながらやどりきを出発しました。うわさ通り、急登・沢・アップダウン、鎖場ありを進んでいき、気が付いたら後方に富士山がくっきりと見えました。鍋割山の山頂では、滝澤さんからの温かい卵スープと富士山を満喫しながらの昼食。記憶に残る忘れられない山歩きとなりました。山はアドベンチャーランドだぁ～と改めて感動し、やどりき周辺の山々の魅力も感じる事が出来ました。(記 源島 13期)

メンバー：L滝澤洋子⑤、SL飯澤恒⑨、菊地昭子①、阿部純一⑧、内野みどり⑨、福島孝弘⑨、辻村寿⑨、橋本章⑩、大橋聡⑩、湯浅鉄男⑩、石川裕一⑫、門澤勇⑫、源島道恵⑬、長尾聖司⑬ (14名)

(写真撮影：飯澤、福島、滝澤)

尾根を歩く  
左側に富士山を見て感動！！



クサリ場では緊張

鍋割峠到着



鍋割山頂上で昼食(右上に富士山)



全員で記念撮影(右上に富士山 写真では不鮮明です)



## 活動短信

今回の掲載は  
平成26年  
11月26日～12月16日です。  
寄稿頂いた中には、紙面都合  
や寄稿タイミングで次号以降  
の掲載になるものもあります。  
予めご了承下さい。



朔風払葉(11/27～) 熊糞穴(～12/16)  
(さくふうをはらう) (くまあなにごもる)  
小雪 初候 ～ 大雪 次候

## ◆ 横浜市立平沼小学校

## 間伐体験(中止)⇒木の柄を使ったスプーン作り等

日 11月26日(水)10:30～14:30、雨

場 愛川ふれあいの村

参 小学5年生 98名、教師 9名

財 古舘様

イ L 松山⑩、井出①、伊藤⑦、内野⑨、海野⑩、

湯浅⑪、澤村⑫、小川⑬、菌田⑬、溝田⑬、

『森林学習や森林作り体験活動の一環』としての間伐体験が、雨天のため中止。残念ながら活動予定を変更。午前、ふれあいの村職員の指導による「木の柄を使ったスプーンづくり」。インストラクターはナイフの使いなどを指導した。ナイフを使うのが初めての子供たちも、完成するころにはかなり上達していた。午後は小雨の中、「木」スコアオリエンテーリング。子供たちは班ごとに、元気よくスタートしてポイントを駆け巡る。インストはチェックポイントに立って、樹木の特徴などを解説した。14時30分全班ゴールインの後、“おわりの会”を以って無事終了。

(記 松山 隆治 10期)

## ◆ 川崎市立宮崎小学校

## (総合的な学習の時間～やどりき水源林を知ろう～)

日 11月27日(木)10:00～14:00、晴れ

場 やどりき水源林

参 小学5年生 171名、教師他 9名

イ L 杉崎⑩、友谷①、高橋③、渡辺③、高崎④、

武者⑦、松本⑧、内野⑨、大塚⑪、谷川⑪、

上宮田⑪、大原⑬、古舘⑬

前日にはかなり激しい雨が降ったが、本番当日は、やどりき水源林に立ち込めていた霧も生徒たちが到着した10時にはすっかり晴れ渡り、素晴らしい快晴に恵まれた。生徒代表の挨拶、インストラクターの紹介の後に、生徒たちは13班に分かれた。

Aコース:成長の森を回るコース(5班)、

Bコース:人工林コース(4班)、

Cコース:林道コース(4班)

と生徒の希望を聞いて班編成されていた。

10時半に各班ともそれぞれのインストラクターに従って森林探訪に出発した。山の広葉樹は紅葉の真最中で、太陽に照らされて鮮やかな赤～黄色に染まり、針葉樹の緑と対比をなしていた。山道は落ち葉で敷き詰められており、昨夜の雨で滑りやすい所もあったので、注意して一步一步進んでいった。各コースに共通するテーマとして、「森林の働きや周りの動植物」「森林と水のつながり」「森林と自分たちとの生活の関係」に興味を持つことが期待されており、各インストラクターは小道具を使ったり、説明に工夫をこらしたりして、生徒の関心を引き付ける努力を行った。生徒は黄色のバインダーと筆記用具を持ち、インストラクターの説明を熱心にメモし、所々で活発に質問してきた。A、B、Cコースとも異なる場所で昼食をとった後、13時45分には全班とも出発点の広場に戻り、閉会式を行った。怪我をした生徒もなく、指導する側も生徒も良く晴れた晩秋の一日を楽しむことが出来た。

(記 古舘 信生 13期)

## ◆ 日揮株式会社

## 森林癒し体験とクリスマスリース作り

日 11月29日(土)10:00～14:00、雨

場 やどりき水源林

参 日揮株式会社9名(大人8名、子供1名)

イ L 若林⑦、宮下⑩

あいにくの雨でしたが、雨降る中の森林散策は静かで落ち着いて森を感じられる時間となりました。

癒しプログラムを実施することはできませんでしたが、森林浴効果、五感で自然を感じるなど、癒しの解説をしての散策は、立ち止まり、目をつぶり、肌で風を、耳で雨音を、立ちのぼる土の香りを嗅ぎながら静かに自然を味わいました。また、雨だれが落ちるのがかわいく感じたり、ぬれて鮮やかになった紅葉、黄葉を「きれい」と愛でながれたり、雨の日ならではの体験となりました。

途中、紅葉のしくみなどの自然観察的なお話もさせていただきましたが皆さん関心深げに聴かれていました。

リース作りを楽しみにされていた方もいらして、お昼ご飯を先延ばしにされるくらい、皆さん夢中でリース作りに没頭されていました。一人ひとり思い思いの飾りつけをし、

愛着あるリース作りができました。最後は全員のリースをつり下げお披露目をし、クリスマスムードが高まったところで解散となりました。

(記 若林 良子 7期)

#### ◆ 「鶴岡八幡宮・槐の会」 森林活動

日 11月30日(日)8:30~15:30

場 やどりき水源林フィールド

参 槐の会63名

県 亀田課長、星様、坂井様

イ L草野⑧、高崎④、宮本④、小沢⑨、時田⑩、  
宮下⑩、福島⑪、山下⑪、安井⑫、江頭⑬、源島⑬

お天気にも恵まれ、爽やかな絶好の活動日和となり、色鮮やかなグラデーションに揺れる紅葉の中で各班に分かれて森林活動を行った。

(午前)延寿の森で5班に分かれ作業を行いました。

①間伐班(1班)は担当インストラクターによる説明後、スギ1本の間伐・玉切り・枝はらい等を実施。伐倒時には、当日の参加者全員に見学していただき、ドスンと地響きを立てて倒れる樹木に感動・歓声の音が森の中に響きわたった。

②丸太ベンチ班(1班)は春の活動で製作したベンチを、現在地からタカナシ溪畔林前の林道沿いに運搬・設置した。

③林内整備班(3班)は延寿の森から林道までの経路の整備をしたほか、林内の小枝などを集めたアニマルヘッジづくりと「樹銘板」の清掃を行った。

午前中の活動終了後、「延寿の森」標識の前で、班別に記念写真を撮った。

(午後)森林癒し体験班と林道周遊班とに分かれて活動した。

①森林癒し体験(3班)は集会棟横の森でのハンモック、延寿の森での樹冠のゆらぎ、休憩棟広場での呼吸法・緑のグラデーション等を実施。非日常的体験を味わい、日ごろの疲れを癒していただいた。

②林道周遊(3班)は林道の周遊・自然観察のほか、やどりき林内の暗視カメラで撮った写真を利用し、生きもの達(シカ・カモシカ・ノウサギ・イノシシ・テン・ハクビシン・・・)の生態等の説明を行い、参加者には楽しく散策頂いた。

平均年齢も高く、お子様もいるなど、多様な参加者とリビ

ーターのために、プログラムにも工夫を凝らしたので、主催者・参加者から感謝されました。心配された事故・けが人もなく、無事に活動を終了しました。

(記 草野 弘 8期)

ニュースレター「しずくちゃん便り」  
ホームページは下記URLで見ることができます。  
かながわの水源地環境の  
保全・再生をめざして  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/t7006/p23426.html>

#### ◆ 県民参加の森林づくり (竹林整備)

日 12月3日(水) 9:30~13:00、快晴

場 小田原市小竹

参 52名(大人 男性44名 女性8名)

住宅供給公社7名も含む

財 内海様、鳥海様 看 小林様

住宅供給公社 猪股理事長様、薮専務様、石井様

イ L宮下⑫、国分③、渡辺③、米山④、柏倉④、  
滝澤⑤、齋藤⑥、戸谷⑥、伊藤⑦、村井⑨、飯澤⑨、  
上宮田⑪、中村⑪、徳岡⑪、大原⑬、小川⑬

研 小清水⑤、江頭⑬、古館⑬

この冬一番の寒さの中、財団の内海課長、鳥海様と担当インストラクターが午前7時50分に二宮駅に集合した。

打ち合わせの後、8時40分に一般参加者と関係者は2台のバスで作業場所に向かった。寒かったせいであろうか参加者が予想より少なく、5班編成になり各班に3人のインストラクターがついた。

作業前に財団の鳥海様及び宮下インストラクターリーダーから作業内容全般と伐採方法、注意事項等の説明。大原インストラクターの準備体操があり、作業場所である竹林へ向かった。

当初は光も射さないほど竹が密集しており、急斜面でもあり安全第一で作業が進められた。竹は伐りやすいのでつい夢中になるので隣の距離に気を配った。作業が進むにつれて暗かった竹林が驚くほど明るくなり、スケジュールどおり無事に作業が終了した。

昼食後のグループミーティングでは自己紹介や参加動機などで和気あいあいと過ごした。次回は筍シーズンの6月ごろにしてほしいなど楽しい話で盛り上がった。参加者の皆さんが充実した笑顔で帰路に着かれた。

(記 小川 和恵 13期)

## ◆ 相模原市立串川中学校

## 間伐体験

- 日 12月3日(水)10:00~14:30、快晴  
 場 ふじの体験の森「やませみ」  
 参 中学1年生3クラス69名 教師7名、  
 財 古舘様  
 スタッフ やませみ職員 中井様他3名  
 イ L西出⑫、佐藤⑤、小野⑦、渡部⑦、鈴木⑧、  
 内野⑨、松山⑩、松永⑪、

朝から雲一つない快晴の中10時に全員集合して、はじめの会を開催してスタートです。全員が安全帽を着用して手ノコを腰に付け、共用機材を手分けして持ちますが、帰りには今持った共用機材と同じものを持って帰ってくることを伝え出発です。約20分で間伐現場に到着、リーダーより全体説明があり各グループは、指定された伐倒木に行き作業開始です。まずは倒す方向を決めてロープを掛けて準備完了、インストラクターの指示に従い受け口を間伐ノコギリでつくります。水平方向の切り込みは出来ましたが、斜め切りはみなさん苦戦しましたが、どうか受け口の完成です。今度は反対側から追い口を入れて伐倒しました。全部のグループが予定通りに安全に伐倒完了です。倒した木をこれからの活動用に各自の手ノコを使ってコースターと鉛筆用の材料を確保して作業終了です。みなさん慣れない作業でしたが、協力して木を倒すことができ達成感の溢れるすがすがしい笑顔でお昼をいただくことができました。最後にやませみにて振り返りをして楽しい間伐体験を無事終了しました。

(記 松永 廣 11期)

## ◆ 川崎市「里山ボランティア育成講座」第6回

- 日 12月6日(土)9:30~15:00、晴  
 場 黒川汁守地区・黒川青少年野外活動センター  
 参 33名  
 スタッフ 人材バンク6名、公園緑地協会2名、川崎市2名  
 イ L山崎⑫、門澤⑫、源島⑬、溝田⑬、水上⑬

全6回講座の最終回は快晴に恵まれ、まず黒川汁守地区散策し、その後徒歩にて黒川青少年野外活動センターまで移動しながら、里山の景観を満喫した。

昼食後、「植樹班」と「焼板工作班」に分かれ実習。

「植樹」では植え穴を掘り、掘った土を手前に積み、苗に続き土を入れ最後に水やりまでを、安全第一に実施し

た。

木の特性を知り、自分だけのオリジナルデザインを考えながら物を作る楽しさを味わうことを目的とした「焼板工作」は、間伐材の杉板を利用し火で焼き焦がし、表面の煤を払い炭が出なくなり美しい木目が現れたら、パステルカラーを使い個々に描いた。皆色々な作業が出来、完成した作品に満足した。

その後、公園緑地協会理事長の挨拶と修了証授与式を行った。

授与式後は積極的に活発な意見交換もあり、平成26年度「里山ボランティア育成講座」を皆、達成感をもって終了した。

(記 源島 道恵 13期)



## ◆ 県民参加の森林づくり（竹林整備除伐）

- 日 12月13日(土)8:30~13:30、晴れ  
 場 川崎市麻生区  
 参 70人  
 財 鳥海様、古舘様 看 青木様  
 スタッフ 川崎市役所 山口様  
 川崎市公園緑地協会 野牛様、川瀬様、森林組合連合会  
 イ L宮下⑩、佐藤⑤、松田⑦、渡部⑦、片岡⑧、  
 鈴木⑧、大塚⑪、大橋⑪、波多野⑪、山口⑪、門澤⑫、  
 稲野辺⑬、源島⑬、斉藤⑬、松石⑬、水上⑬  
 研 江頭⑬

12月にしては暖かく、絶好の竹林整備の活動日となった。8時半までに小田急線の栗平駅に参加者が集合。班編成を行い作業現場に近い公園まで移動。

作業現場は、川崎市の栗木山王山特別緑地である。

オリエンテーションでは、川崎市みどりの協働推進課より、竹林整備地の将来像が説明された。全体スケジュールや作業の手順、事故防止と安全作業、グループ行動の必要性を説明。ストレッチ体操後、道具を片手にいざ作業地に出発。現地はマダケ主体の荒廃した竹林で、作業は皆伐作業。

伐採、枝切り、玉切り、集積の仕方について、作業手

順や安全対策を確認後、まずは作業ヤードを確保するため、倒れた、また、古くなった竹を伐採と集積。多くの班は古くなった竹の伐採と整理に追われ、新しい竹の伐採を十分行うことができなかつた。2時間ほどの作業で、荒廃した竹林は明るい緑地になり始めた。今回の場合、伐採は地際で切ることとし、作業のやりやすさや安全確保のため、2回切りとする、いわゆる川崎方式というやり方である。

公園に戻り昼食後、各班の参加者とインストラクターで作業の振り返りを行うと共に要望をいただいた。参加者からは楽しい作業になった、もう少し作業をしたかったなどの声も頂くことが出来ました。13時前には公園を出発。栗平駅での解散となった。荒廃した竹林が少しでも明るい緑地になり始めたことは、参加の皆さんの活動の賜物。参加者の皆さんと関係者の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいであります。

(記 宮下 修一 10期)

スを行ない、一人一人が自分だけの作品を作り上げていった。外では雪が舞う寒い中で火を燃やし、煙と闘いながらも皆が楽しそうに作業をしていたので良い体験が出来たのではないかと思います。

班毎に生徒達と一緒に昼食を済ませた後、まとめの会を行ない、各インストの個性で森林の役割や間伐、自然の恵みなどの話と質問を受け、終わった頃には雪から雨に変わっていた。今日の活動は我々にも良い体験の場であった。

(記 塩谷 弘道 7期)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

◆ 相模原市立相模台小学校

(間伐(中止) ⇒ 焼き杉体験)

日 12月16日(火) 10:00~14:00、曇り後雪後雨

場 ふじの体験の森 やませみ

参 81名 (生徒76名、教師等5名)

スタッフ やませみ職員2名

イ L小野⑦、佐藤⑤、武者⑦、塩谷⑦、

有坂⑧、鈴木⑧ 内野⑨、松山⑩、澤村⑫

大日野原地区での間伐体験の予定であったが、悪天候が予想された為、急遽 雨バージョンでやませみ施設内での「焼き杉体験」に変更して実施した。

やませみ職員から間伐材の杉板を使った焼き杉についての説明を受けた後、8班編成で各班2グループに分れ、それぞれの釜戸にて焼き杉を体験した。

我々インストは各班に別れ、焚きつけから火起こし、間伐材の薪を使つての焚き火、杉板の焼き具合などアドバイ

投稿概略フォーマットと略語の説明

(ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です)

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付 (できれば時間と天気も)

場 場所

参 参加者

県 (神奈川県自然環境保全センター・水源の森林推進課)

財 ((公財)かながわトラストみどり財団)、 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合 XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

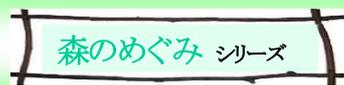
イ インストラクター (○数字:期)  研修枠

(以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)

リーダーは責任を持って執筆者の選択をお願いします。

\*\*活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。\*\*

森のめぐみの掲載は、  
今月号はありません。  
次掲載は4月号です。



厚木基地より  
飛び立った  
飛行機

世界遺産 富士山

丹沢大山国定公園

(2/16 撮影 広報 松本)

トラスト久田緑地(大和市)

やどりき水源林  
ミニガイド

2月のトピックス

平成19年の成長の森は雪がありました。



(2/11 撮影 辻村 寿氏 9期)

3月の水源林

春の訪れです。ミツマタの開花が最盛期となります。

「森の案内人」情報

“3月から案内人が  
はじまります！！”

●実施時間：毎週土曜・日曜・

AM10時・PM1時、1～2時間程度

●集 合：水源林入口ゲート前

●内 容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。

参加自由、参加費無料

\*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ：(公財)かながわトラスト

みどり財団 TEL：045-412-2255

FAX：045-412-2300

●ホームページ：http://www.ktm.or.jp

●E-mail：midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35～40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

【第17回まつだ桜祭り】

開催期間：2月14日～3月15日



松田山西平畑公園内  
松田山ハーブガーデン

松田町役場観光経済課 ☎0465-83-1228

松田町観光協会 ☎0465-85-3130

松田山ハーブガーデン☎0465-85-1177

(松田観光協会ホームページより)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・購読の皆様からの原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail：matsutamo@jcom.home.ne.jp

Tel：090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

〒221-0865

横浜市神奈川区片倉 2-1-50

Tel：090-6150-6173

Mail：s\_akasaki-k\_instructor@live.jp

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037

横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax：045-301-9401

電話連絡先：090-7962-3168

Mail：matsutamo@jcom.home.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871

小田原市下堀 123

Tel/Fax：0465-42-7240

Mail：minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【CCで】竹島 明

〒238-0045

横須賀市東逸見町 3-7

Tel/Fax：046-825-9281

Mail：2nahemi0818@kce.biglobe.ne.jp

原稿は随時受け付けています。

森のなかまはHPで過去号もご覧になれます。

[http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

[kiroku01](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01) (HP担当：井出恒夫)

編集後記

★寒さやわらぎ、ロウバイ・マンサク・梅も咲き、沈丁花の蕾も毎日大きく膨らんでいます♪

(大塚)

★サクラの芽が大きくなってきました。春が待ち遠しいです。

(赤崎)

★四月ごろから咲き始める君子蘭が我が家のリビングではもう満開を迎えています！！首が短くて葉の間から苦しそうにしているので、友人に尋ねたら室温が高いのね・・・過保護かしら！

(小川)

★一昨年コナラとクヌギに食菌した椎茸が今月によきによき頭を出した。大きくて肉厚のあるドンコは圧倒的にクヌギから出るが原木寿命は短い。寒い今宵は焼き椎茸で一杯やっか！

(徳岡)

★これから森のなかまでは春のにぎわいが楽しみなのですね。しかし、花粉症がそれを阻み、週末出かけるにも葛藤の連続です。

(水口)

★久しぶりに関西に行き日本一高いアベノハルカスに昇り、また、西の秋葉原と言われる日本橋で折りたたみの大きな鋸を手に入れました。中華系の観光客が沢山いました。

(松本)

◇ 年間購読のお申し込み

「森のなかま」年間購読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで購読料年2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。(頒 価 200円 送料共)

編集人：松本 保

事務局：竹島 明

広報部：小沢章男 水口俊則

鈴木 朗 徳岡達郎 大塚晴子

加藤暖子 赤崎さほり 小川和恵

小池 哉

支援

伊藤恭造 川森健司 菌田栄哉

第24回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム

みんなで支える  
かながわの森と水

～水源環境保全税による取組みの検証～

日時：3月22日(日)13～16:30 主催：水源環境保全・再生かながわ県民会議

会場：横浜シンポジア【定員200名】入場無料 展示もあります。

横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル9階

内容 ①開会あいさつ ②基調講演 ③水源環境保全・再生の取組みのこれまで

④パネルディスカッション かながわの水源環境保全・再生はどこまで進んだか

当会の内野ミドリさん(9期)がパネリスト一員として登壇 いたします。

⑤会場参加型討論 ⑥講評

URL：<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/> TEL：045-210-4352